

The World Health Capital Conference

# 世界健康首都会議

基調講演1

“A Swedish perspective on sustainable growth and healthy life in the Sustainable Healthy City of Matsumoto on 9 December 2011”

スウェーデン王国前駐日大使 ステファン・ノレン氏

基調講演2

「ドイツと日本の高齢社会と幸福論」

ドイツ日本研究所 所長 フロリアン・クルマス氏

基調講演3

「信州・松本の地で考える健康寿命」

信濃毎日新聞 編集委員 飯島裕一氏

国の取組み

「国のヘルスケア産業への取組み」

経済産業省ヘルスケア産業課長 藤本康二氏

企業の取組み紹介

「持続可能な高齢社会に向けて」

株三菱総合研究所 プラチナ社会研究センター長 村上清明氏

企業取組み1 「サステイナブル・スマート&ヘルスケアタウン構想」……パナソニック株システム・設備事業推進本部長 野呂輝久氏

企業取組み2 「脈拍計測を用いた新健康サービスへの取組み」……セイコーエプソン株Pプロジェクト 部長 森山佳行氏

企業取組み3 「健康サービス産業が取り組む 健やかな社会創り」……株ルネサンス取締役常務執行役員 高崎尚樹氏

まとめ

世界健康首都の定義と健康寿命延伸都市実現に向けた取組み及び今後の展開構想……松本市長  
世界健康首都宣言

(同時通訳あり)

日時 平成23年 12月9日(金)10:00~16:30(開場9:00)

会場 松本市 Mウイング6階ホール

入場  
無料

主催：松本地域健康産業推進協議会

後援：経済産業省、長野県、信濃毎日新聞社、朝日新聞松本支局、毎日新聞松本支局、読売新聞松本支局、産経新聞社長野支局、中日新聞社、日本経済新聞社松本支局、市民タイムス、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、テレビ松本ケーブルビジョン、長野エフエム放送  
事務局：松本市商工観光部商工課



**"A Swedish perspective on sustainable growth and healthy life in the Sustainable Healthy City of Matsumoto on 9 December 2011"**

スウェーデン王国前駐日大使 ステファン・ノレン氏

- 1951年 スウェーデンKarlskoga生まれ
- 1971-1975 ウプサラおよびヨーテボリ大学にて学ぶ
- 1974年 ヨーテボリ大学 政治科学学科 学士号取得
- 1975-1977 通商省入省
- 1978-1980 駐モザンビークスウェーデン大使館一等書記官
- 1980-1983 駐ブルッセルE.U.スウェーデン代表本部一等書記官
- 1987-1992 駐ニューヨーク国連スウェーデン代表本部参事官
- 1992-1994 駐モスクワスウェーデン大使館公使
- 1994-1995 駐ジュネーブ グローバルガバナンス委員会事務局本部
- 1996-2000 駐ポーランドスウェーデン大使
- 2000-2002 首相官邸 対外政策担当大使およびアドバイザー
- 2002-2006 スウェーデン政府北欧協力担当室 担当副大臣
- 2006-2011 駐日本スウェーデン大使
- 2011- 東京大学総長室顧問

**「ドイツと日本の高齢社会と幸福論」**

ドイツ日本研究所 所長 フロリアン・クルマス氏



ドイツ日本研究所所長  
 国立国語研究所、ジョージタウン大学、中央大学などさまざまな環境で、教育・研究に携わる。10冊を超えるモノグラフをはじめ学術論文、およびジャパンタイムズ、ニューチャーリッヒ新聞および南ドイツ新聞などへの寄稿が多数ある。主な論文・著書には、言語学関係にLanguage and Economy. London: Blackwell; 1992 (『ことばの経済学』 諏訪功他訳、大修館書店、1993); Language Regimes in Transformation (社会変革、言語と政治形態) Berlin, New York: Mouton de Gruyter, 2007.; 最近の研究書にPopulation Decline and Ageing in Japan - The Social Consequences (日本における人口の減少と高齢化) London: Routledge, 2007.; Imploding Populations in Japan and Germany (人口激減・日独比較) Loidon・Boston, BRILL, 2011.などがある。

**■世界健康首都会議 参加・企業展示出展申込要項■**

**レセプション**

- 1) 開催日時 平成23年12月8日(木) 18:30～ (開場18:00)
- 2) 会場 ホテルブエナビスタ 2階メディアール  
〒390-0814 長野県松本市本庄1-2-1  
TEL: 0263-37-0111 FAX: 0263-37-0666
- 3) 参加費用 3,000円/1人 (税込)

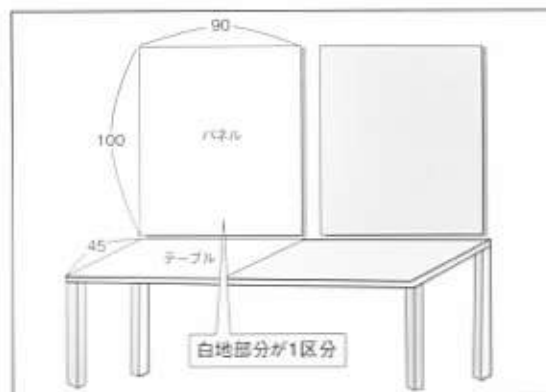
**世界健康首都会議**

- 1) 開催日時 平成23年12月9日(金) 10:00～16:30 (開場9:00)
- 2) 会場 Mウイング (松本市中央公民館) 6階 ホール  
〒390-0811 長野県松本市中央1-18-1  
TEL: 0263-32-1132 FAX: 0263-37-1153
- 3) 参加費 無料

**企業展示**

- 1) 開催日時 平成23年12月9日(金) 9:00～17:00
- 2) 企業展示場所 Mウイング (松本市中央公民館) 6階 ホワイエ  
〒390-0811 長野県松本市中央1-18-1  
TEL: 0263-32-1132 FAX: 0263-37-1153
- 3) 設 営 日 ポスター掲示: 12月8日(木) 13:00～17:00
- 4) 募集区分数 基礎区分 (ポスター掲示): 40区分
- 5) 出 展 料 2,000円/1区分 (税込) {基礎区分 パネル: W90cm×H100cm}  
{資料用テーブル: W90cm×D 45cm}

※社名板等区分内のデザインは、出展社様にてご準備ください。  
 レセプション参加費及び企業展示出展料請求書は申込後、事務局より発送いたします。  
 請求書がお手元に届きましたら10日以内にお振込下さい。  
 なお、開催当日も含め、現金でのお支払いも受け付けます。



**申込方法**

右記「会議参加・企業展示出展申込書」に必要事項をご記入のうえ、FAXまたはE-mailにてお申込みください。  
 企業展示の区分割り、搬入出等のスケジュールなど詳細決定後、ご連絡いたします。  
 申込期限: 平成23年11月28日 (月)

**申込書送付先**

(申込先) 世界健康首都会議 事務局  
 〒390-0874 長野県松本市大手3丁目8番13号 松本市商工観光部商工課  
 TEL: 0263-34-3110 (ダイヤルイン) FAX: 0263-34-3008  
 E-mail: shoukou@city.matsumoto.nagano.jp

① 世界健康首都会議 レセプション・会議申込み

ご参加の方は○を記入ください

団体名 企業名		レセプション 参加	会議参加
フリガナ			
役職名・ご芳名		¥3,000	無料
フリガナ			
役職名・ご芳名		¥3,000	無料
フリガナ			
役職名・ご芳名		¥3,000	無料
フリガナ			
役職名・ご芳名		¥3,000	無料
合計		名 (¥ )	名
連絡先	ご住所	〒	
	メールアドレス		
	電話番号	FAX番号	

② 世界健康首都会議 企業展示出展申込み

フリガナ			
団体名 企業名			
連絡先ご住所	〒		
ご担当者名（上記の住所と異なる場合は、住所もご記入ください）			
メールアドレス			
申込区分	¥2,000 ×	区分 = ¥	
（※1区分はパネル：W90cm×H100cm テーブル：W90cm×D45cm）			
通信欄			

※企業展示の割当て

区分の割当ては区分数、区分構成の有無などを考慮し、申込み締切後に主催者にて決定し、各出展者へ通知いたします。ご希望に添えない場合がありますのでご承知願います。

※出展の取消し

申込書提出後の取消しは原則として受けかねます。但し、やむを得ない理由で出展の取消しを希望される場合は、文書にてご提出願います。

※変更・中止

主催者は不可抗力、またはやむを得ない事情により、会期・開催時間などを変更、又は、開催を中止する場合がございます。中止の場合、出展料は返金いたしますが、出展者様側でそれまでに要した費用は、ご負担となりますのでご承知願います。

# 世界健康首都会議

The World Health Capital Conference

主催：松本地域健康産業推進協議会

会長：菅谷 昭（松本市長）

副会長：井上 保（松本商工会議所会頭）

会長顧問：小宮山 宏（株三菱総合研究所理事長）

// : 山沢清人（信州大学学長）

// : 住吉廣行（松本大学学長代行）

日時：平成23年12月9日（金）

10:00～16:30（開場9:00）

会場：松本市Mウイング6階ホール

## ごあいさつ

現下の日本は「少子高齢化」、「エネルギー・資源問題」、「環境問題」という大きな課題に直面しており、これは今後世界各国が直面する共通課題であります。これらの課題を「課題先進国」である日本が先陣を切って解決を目指すことが求められており、それは「課題解決型先進国」として世界に貢献すると同時に、新たな成長産業を生むチャンスでもあると確信しております。

松本市は目下、『健康寿命延伸都市・松本』の創造を市民の皆様とともに着実に進めております。これまで健康づくりとは関連が希薄だと考えられていた分野も含めて、それぞれの分野が相互に連携して全体としての機能を押し上げるような総合的な施策の展開をしています。

この都市戦略が、世界の抱える諸課題を解決すべき先進的な構想の一つであることを自負しつつ、同時にこの構想を持続可能なかたちで推進するために、「健康寿命延伸」に用いる資源は、社会的コストではなく、より快適な社会を創るために使う資金として、投資と考えるべきであり、その投資が持続するには産業として成立することが求められると考えております。

そこで、企業、団体、学術機関、研究機関の皆様のご参集を賜り、「健康寿命延伸」をキーワードに、産業をはじめ「健康寿命延伸」を推進する仕組みを検討する場として、世界健康首都会議を開催いたします。

日本における少子化、高齢化、人口減少社会の到来は、やがて20年後、30年後には、今や人口のみならず経済大国である中国、インド等における大きな課題になることは必至であり、こうした未来にわたる世界的な課題についてこの地域から、「時代を先取りする地域モデル」として世界に向けて拡げていく契機にしたいと考えております。

つきましては、日々地域の経済活動、社会活動にご尽力されている皆様方に「世界健康首都会議」へのご参加をお願いいたします。どうぞ本会議の趣旨にご理解とご賛同を賜り、ぜひともご一緒に「健康寿命延伸都市構想」を推進してまいりましょう。

松本市長 菅谷 昭

## 会議内容

・会長顧問挨拶（株三菱総合研究所理事長）

「プラチナ社会実現に向けて」

・副会長挨拶（信州大学学長）

「メディカルシーズ育成拠点について」

・来賓あいさつ（長野県知事）

## 基調講演 1

“A Swedish perspective on sustainable growth and healthy life in the Sustainable Healthy City of Matsumoto on 9 December 2011”

スウェーデン王国前駐日大使 ステファン・ノレン氏

## 基調講演 2

「ドイツと日本の高齢社会と幸福論」

ドイツ日本研究所 所長 フロリアン・クルマス氏

## 基調講演 3

「信州・松本の地で考える健康寿命」

信濃毎日新聞編集委員 飯島裕一氏

## 国の取組み

国のヘルスケア産業への取組み

経済産業省ヘルスケア産業課長 藤本康二氏

## 企業の取組み紹介

持続可能な高齢社会に向けて

（株）三菱総合研究所 プラチナ社会研究センター長 村上清明氏

### 企業の取組み 1

「サステナブル・スマート&ヘルスケアタウン構想」

パナソニック(株) システム・設備事業推進本部長 野呂輝久氏

### 企業の取組み 2

「脈拍計測を用いた新健康サービスへの取組み」

セイコーエプソン(株)Pプロジェクト 部長 森山佳行氏

### 企業の取組み 3

「健康サービス産業が取り組む 健やかな社会創り」

（株）ルネサンス 取締役常務執行役員 高崎尚樹氏

## まとめ

世界健康首都の定義と健康寿命延伸都市実現に向けた取組み及び今後の展開構想

松本市長

世界健康首都宣言



健康寿命延伸都市・松本